

2026
夏号

いでちゃんねる



松戸市議会議員 公明党 井出 まさこ

2026
市議会6月定例会より

ご挨拶

今回の議会では、ボランティア活動や市民相談、ブログや議会報を通じていただいた声をもとに質問に立ちました。皆さまからいただく声を大切に、一つひとつ市政につなげながら、誰もが安心して暮らせる居心地のよいまちづくりに全力で取り組んでまいります。



1-①. ナフサ不足と 市民生活への影響について



最近ニュースでも取り上げられている“ナフサ不足”。ごみ袋や食品の包装に使われる大事な原料なので、「松戸の生活にも影響が出るのでは…」と心配の声が広がっています。市に確認したところ、今のところ大きな支障はなく、ごみ袋も市内で普通に買える状況とのことでした。一時的に在庫が少なくなった店舗もあったそうですが、製造量は昨年並みに確保され、今は回復傾向にあるそうです。担当の職員の方々が実際にお店を回って確認してくれているという話も

聞き安心しました。

とはいえ、情勢が変われば市民生活や行政サービスに影響が出る可能性もあります。特に子育て世帯や高齢者の方は、生活用品の品不足や価格の変化に敏感です。だからこそ、市には丁寧で分かりやすい情報発信を要望しました。

また、原材料不足は中小企業にも直結する問題です。価格上昇や納期遅れで困っている事業者の相談を、市の無料窓口「ビジまど」や県の相談窓口で受け付けています。事業者が孤立しないよう、行政がしっかり寄り添う体制づくりが大切です。

これからも状況を丁寧に把握し、変化があればSNSやホームページで早めに情報を届けていくよう、引き続き求めていきます。

1-②. ゼロカーボンと 資源循環の取組について

今回のナフサ不足をきっかけに、身近なところで循環していく仕組みづくりがますます重要になっています。中でも、生ごみを家庭や地域で処理する取り組みは、ごみ袋など石油由来の資材への依存を減らし、可燃ごみそのものを減らす効果もある“すぐできるエコ”です。町田市の「水切りひとしぼり」や大村市の呼びかけのように、出す前のひと手間がCO₂削減にもつながります。

松戸市でも、生ごみ処理容器や電気式処理機の補助がとても人気で今年度の予算はすべて執行されました。毎年夏頃には満額に達してしまうため、より多くの方が利用できる仕組みを検討していくとのことです。また、若い世代が楽しみながら循環の価値を感じられるイベントも進めていく方針です。

私は、補助枠の拡充と若者・子育て世代への分かりやすい啓発をお願いしました。全世代で取り組む“循環のまち松戸”をこれからも一緒に育てていきたいと思います。

2. 空き家対策の取組について

最近、空き家に関するご相談が本当に増えています。庭木や雑草が隣のお宅に入り込んでしまったり、道にはみ出して歩きにくくなったり、不法投棄や火災の心配が出てきたりと、生活に影響が出るケースも少なくありません。市も所有者への連絡や指導を続けていますが、連絡がつかない、改善が進まないなど、難しい事例もあるのが現状です。

そこで私は、松戸市の空き家対策が今どう進んでいるのか、改めて伺いました。市からは、委員会で整理された4

つの方向性に沿って取り組みを進めているとのこと。

まず、民間事業者との連携では、新たに5社と協定を結び、管理が難しくなった空き家を専門家の力を借りて維持できる体制が充実しています。

次に、「相談窓口があることを知らなかった」という声が多いことから、周知にも力を入れており、「住まいの終活始めませんか？」というリーフレット配布や講座の開催を通じて、空き家になる前から住まいの将来を考えてもらう取り組みが進んでいます。

さらに、改正空家法で新たに設けられた「管理不全空家」に対応するため、本市独自の基準づくりを今年度中に進め、

裏面へつづく

令和7年度の調査結果をもとに早期改善につなげていく方針です。

そして、**除却費用の補助も拡充**され、すでに**190件の除却**が進んでいます。

私は、これらの前進を評価しつつ、空き家化を防ぐ“川上対策”の重要性をお伝えしました。医療・介護・福祉とも連携し、「相談・管理・流通・活用」まで切れ目なく寄り添える体制づくりをこれからも求めていきます。

3. 駅周辺駐輪場の整備促進について

八柱駅・新八柱駅周辺の駐輪場について、「駅に一番近い駐輪場がいつも満車で困っている」という声を多くいただいています。共働きの方からは「保育園に送ってから急いで電車に乗りたい」、高齢の方からは「できるだけスロープを使わずに停めたい」など、どれも切実なお声です。

市によると、八柱駅や松戸駅のような利用者の多い駅では、駅近の駐輪場に需要が集中し、定期利用の待機や一時利用の満車が課題になっているとのこと。そこで、市は不要になった管理棟の解体や、バイクスペースを自転車用に転用するなど、限られた敷地を工夫して収容台数を増やしています。

さらに、利用者の需要に応じて新規整備も検討しており、今年度は東松戸駅に160台の一時利用専用駐輪場を新設予定です。一方で、八柱駅周辺は新たな用地確保が難しいため、民間事業者との連携も進め、**補助制度の活用や駐車場の転用など多様な手法**で対応していく方針です。

私は、こうした取組を評価しつつ、**駅近を利用したい**という声が依然多いことを要望しました。**通勤・通学を支える駐輪環境は、市民の生活の質に直結**します。今後も利用状況を丁寧に分析し、偏りの解消に向けた取組をさらに進めていただくよう取組んでまいります。



4. 独立柱式防犯灯の安全対策について

市内で**独立柱式防犯灯が倒れる事案**があり、幸いけが人はいませんでした。老朽化が背景にあったと伺っています。防犯灯は町会・自治会の財産で、日頃の点検もお願いしていますが、担い手不足や高齢化が進む中、「お願いだけでは限界があるのでは」という声も多く寄せられています。そこで私は、**市としての関与や点検体制について**質問しました。

市からは、毎年点検依頼や補助制度の案内を行っていること、今回の事案を受けて改めて点検徹底を通知したことが示されました。また、**今年10月頃のLED防犯灯リース更新**に合わ



せ、交換作業の際に独立柱の安全性を調査し、老朽化の把握を進める方針も示されました。全市的な取組みの機会を活用して安全確認を進めることは大きな前進です。

一方で、**町会・自治会だけで継続的・専門的な管理を続けるのは難しくなっています**。私は、**行政主導の調査体制の強化や財政・技術支援、手続きの簡略化**など、無理なく維持できる仕組みづくりを求めました。木更津市が令和8年度から市管理へ移行する例も紹介し、松戸市でも将来を見据えた体制検討を要望しました。

地域の安心を守るため、これからも安全なまちづくりを進めていきます。

「松戸市議会議会中継」の動画アーカイブはこちら



みなさまの声がカタチになりました！



みなさまの声をお寄せください

☎ 070-6520-0764

✉ m.ide.matsudo@gmail.com

公式 HP 最新情報発信中！



SNS 情報・ブログ・実績など
見やすくリニューアルしました！

井出 まさこ

＼SNS で情報発信中／

お使いの SNS で最新情報チェック！

